

20回の節目の大会

2月14日近隣市町親善少年柔道大会が追分高等学校で開催され、12団体182名の選手が出場しました。小学生のほか柔道の底辺拡大を目的に幼児の部も設定されており、今年で節目となる20回目を迎え、恒例となった大会です。

競技はトーナメントによる個人戦。小学生は男女別で3年生以上は3・4年生の部、5・6年生の部で体重別で対戦しました。

安平町の選手では、松原充政君（追分小3年生）が3・4年生男子重量級で優勝しました。



優勝した松原選手（写真中央）



快適できめ細やかなサービスに向けて

社会福祉法人富門華会では、デイサービスを利用する方のために送迎用車両購入費の助成を（財）日本船舶振興会に申請し、交付決定を受けて2月16日に納車された送迎用車両は車いす対応のワゴン車です。

デイサービスを行っているケアハウス『サクル』の職員は「従来のワゴン車は19万キロも走行し、車体の損傷も大きく修繕費もかかっていましたが、今回購入した車両は安全性にも配慮され、乗り心地もよく快適できめ細やかなサービスができます」と感謝していました。



地域の安全のために

さかえ自治会では、青色防犯活動車両を1台増車したため、2月15日 役場早来庁舎で実施者証の交付が行われました。青色防犯活動の効果は大きく、平成15年以降犯罪件数は減少。地域の安全のために今後も継続的な活動が期待されます。

最後の合同演劇鑑賞

2月19日早来保育園で卒園進級記念の演劇が行われ、安平、早来、遠浅各保育園の子どもと保護者170名が鑑賞しました。

合同鑑賞会は、園児たちに人形劇を楽しんでもらおうと3園の保護者会が主催したものです。『劇団ひよっこ』を招き人形劇「ふくろうのそめものや」と「ねずみのすもう」を披露。劇団員の軽妙なトークに場内では園児の笑い声が響いていました。

4月から3つの保育園は一つに統合されます。合同による演劇鑑賞については今回が最後となりました。



目録を渡す生徒会長の五十嵐地広君

交互歩行者

心のこもった福祉用品に感謝

平成13年から追分中学校生徒会が回収を呼びかけたリングプルの重量が180kgに達しました。それを交互歩行者に換えて特別擁護老人ホーム追分陽光苑に寄贈することになり、その贈呈式が2月24日に同校の体育館で行われ、生徒会長から目録が施設長に渡されました。

追分陽光苑では「皆さんの心のこもった品を大切に使いたい」と述べていました。

追分陽光苑では「皆さんの心のこもった品を大切に使いたい」と述べていました。

小学校にお礼の手紙



お礼の手紙を読む児童

追分小学校4年生の児童たちが千葉県松戸市立根木内小学校に雪だるまを送り、そのお礼の手紙が2月19日に届きました。根木内小学校は全校児童824名で、雪がほとんど積もらない地域

にある学校です。手紙には、感謝の気持ちや北海道への思いがこめられていました。今回は、学校に雪だるまゆうパックを送り交流を深めてほしいとハヤキタユキダルマカイの協力で実現しました。

また、熊本県の中原小学校にも発送し、雪だるまをとおした交流を深めています。